

走行チェックシート

日付	2012年8月26日 (日)		時間	~		イベント	2012MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦	
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L2		ライダー	今野由寛	
コース	名称	スポーツランドSUGO			気温	30	°C	
	コンディション	DRY			気圧	990	hpa	
	路面温度	45	(計測時間)		湿度	47	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ 10W-40			
	ファイナルレシオ	16 × 45(2.8125)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(28/21)	1.33		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-8			
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	195	mm		
	イニシャル	16	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで3mm突き出し			
リア	パーツ名	SHOWA(340mm)		TEN	-3			
	スプリング	112.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長		mm	リンク	SPL			
	イニシャル	12	mm	リンクロッド	-			
	COMP(HI)	+3回転		車高	STD+24mm ピボット-2mm スイング長616mm			
	COMP(LO)	-3						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.3			
チェック	順位	8位			ベストラップ	1' 29.810		
	水温		°C	油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>

皆さんお元気ですか？

まだまだ厳しい暑が続いていますね。

全日本後半戦がスタートしました。事前テストは6月に行っていたのですが、そのときはものすごく寒くてレースウィークと全く状況が違います。

ほぼぶっつけ本番の状況でタイヤとセットを確認し、タイムを出すことに。

金曜日2本の走行で確認をしました。鈴鹿ではもっとフロントを使いたかったのですが、フロントタイヤが厳しく車体を振ることが出来ませんでした。

車体のスタートは8耐と同じ仕様。今回はフロントを使っていく方向で進めていきます。車体のフロントを突き出し、リア車高を上げていきました。

旋回性が出てきましたがリアの落ち着かない感じが解消できません。リアバネレートも上げて高さは出ましたが動き自体は変わりません。

なのでバネレートは戻して予選スタート。

予選Q1で更に車高を上げていき、動きが出るところを減衰で調整。やや動きは少なくなりましたがまだ落ち着きません。

Q3でNewタイヤを投入し、1' 29.810自己ベストを更新。目標には届きませんでしたが7番手で予選を終えました。

明けて決勝日、朝フリーで仕様の違うリヤサスを試しましたが、詰めるには時間が掛かりそうだったので決勝では戻すことに。

スタート進行の時間になりグリッドへつक्तためサイティングラップスタート。

しかし、ピットアウト直後の3コーナーで転倒してしまいました。今野選手はすぐに走ってピットへ戻ってきました。

スペアマシンに予選で使ったタイヤを装着して再度グリッドへ。

スタートしましたがブレーキが安定せずなかなかタイムを上げることが出来ません。

8耐決勝を走ったエンジンで中古のタイヤ、ブレーキも安定しない中ライダーはよく集中し頑張ったと思います。

我慢のレースで結果は8位でした。

思うような結果が残せず悔しいです。

次回オートポリスも参戦しますので応援よろしくお願ひします。

レーシングサプライ
畑中健太郎